

MSDS No.03
作成 2007年 3月28日
確認 2014年12月 4日

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称:	シリカゲルMix
製品コード:	各製品の品名・品番を参照して下さい
会社名:	豊田化工株式会社
住所:	愛知県豊田市西中山町向イ原49-38
電話番号:	0565-76-2121
緊急時の電話番号:	0565-76-2121
FAX番号:	0565-76-1564
メールアドレス:	info@toyotakako.com
推奨用途及び使用上の制限:	乾燥剤、湿度インジケータとしての使用を推奨

2. 危険有害性の要約

GHS分類

人健康有害性

急性毒性(経口)	区分5
皮膚腐食性・刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B
呼吸器感作性	区分1
皮膚感作性	区分1
発がん性	区分2
生殖毒性	区分2
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)

記載が無い項目は「分類対象外」「区分外」「分類できない」のいずれかです。

ラベル要素

絵表示又はシンボル:

感嘆符



健康有害性



注意喚起語:

危険有害性情報:

危険

飲み込むと有害のおそれ

軽度の皮膚刺激

眼刺激

吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ

アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

呼吸器への刺激のおそれ

注意書き:

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

換気が十分でない場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること。

適切な保護手袋を着用すること。

必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

粉じんの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

【救急処置】

取り扱った後、手を洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼に入った場合、目の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名：

シリカゲルMix

別名：

成分、化学式、濃度又は濃度範囲、CAS番号及び官報公示整理番号（化審法・安衛法）：

成分名	化学式	濃度 wt%	CAS番号	官報公示整理番号 （化審法・安衛法）	
二酸化ケイ素（シリカ）	SiO ₂ ・nH ₂ O	約 99.9	7631-86-9	(1)-548	(注1)
塩化コバルト（Ⅱ）	CoCl ₂	約 0.06	7791-13-1	(1)-207	(注2)

分類に寄与する不純物

及び安定化添加物：

情報なし

（注1 さらに詳細な区分として「シリカ（非晶質・沈殿及びゲル） CAS No.112926-00-8」とする場合があります。

（注2 金属コバルトとしての濃度は0.03wt%です。

4. 応急措置

吸入した場合：

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合：

呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚を速やかに洗浄すること。

多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

医師の手当、診断を受けること。

目に入った場合：

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

医師の手当、診断を受けること。

飲み込んだ場合：

口をすすぐこと。

医師の手当、診断を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状：

吸入した場合、呼吸器感受性によりアレルギー性喘息（咳と軽い呼吸困難によるぜいぜい息切れ）と気管支炎を起こすことがある（塩化コバルト）。

皮膚に付着した場合、アレルギー性皮膚炎により赤い斑点が発生することがある（塩化コバルト）。

5. 火災時の措置

消火剤：

この製品自体は、燃焼しない。

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

特有の消火方法：

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護：

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

保護具及び緊急時措置：

漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

環境に対する注意事項:	密閉された場所に立入る前に換気する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 風上に留まる。 低地から離れる。 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 環境中に放出してはならない。
回収、中和:	漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の方法・機材:	危険でなければ漏れを止める。
二次災害の防止策:	床面に残るとする危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気:	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項:	使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
接触回避:	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	
技術的対策:	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
混触危険物質:	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管条件:	施錠して保管すること。 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
容器包装材料:	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度／許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標):

成分名	管理濃度(厚生労働省)	許容濃度(日本産衛学会(2006年版))	ACGIH(2006年版)
二酸化ケイ素(シリカ)	設定されていない	第3種粉塵 吸入性粉塵: 2mg/m ³ 総粉塵: 8mg/m ³	TLV-TWA: - TLV-STEL: -
塩化コバルト(Ⅱ)六水和物	設定されていない	設定されていない	TLV-TWA: 0.02mg/m ³ as Co A3;BEI TLV-STEL: -

設備対策: この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
粉じんが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具:	換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。 必要に応じて個人用呼吸器保護具を使用すること。
手の保護具:	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具:	適切な眼の保護具を着用すること。 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)
皮膚及び身体の保護具:	必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。
衛生対策:	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:	白色非晶質粒状および粉末と、青色非晶質粒状または粉末の混合
臭い:	データなし
pH:	データなし
融点・凝固点:	>1000℃(シリカ)

沸点、初留点及び沸騰範囲:	データなし
引火点:	不燃性
爆発範囲:	データなし
蒸気圧:	無視できるほど低い(シリカ)
蒸気密度(空気=1):	非揮発性
比重(密度):	2.1g/cm ³ (シリカ)
溶解度:	不溶(水)(シリカ)
オクタノール／水分配係数:	データなし
自然発火温度:	不燃性
分解温度:	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1):	データなし
燃焼性(固体、ガス):	データなし
粘度:	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性:	通常の取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性:	フッ化水素と反応する。
避けるべき条件:	粉塵の拡散。
混触危険物質:	フッ化水素。
危険有害な分解生成物:	なし

11. 有害性情報

急性毒性:	経口: ATEmix=4526mg/kg; 2000mg/kg<区分5=<5000mg/kgにより、区分5とした。 飲み込むと有害のおそれ 経皮: データ不足のため分類できない。 吸入(粉じん): 粉じんによる吸入の可能性が考えられるが、データがなく、分類できない。
皮膚腐食性・刺激性:	全成分が区分3であることにより、区分3とした。 軽度の皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷・刺激性:	シリカ(99.83%)が区分2B、塩化コバルト(0.17%)が区分2Aであることにより、区分2Bとした。 眼刺激
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	呼吸器感作性: 塩化コバルト(0.17%)が区分1であり、区分1の成分=0.17%>=0.1%により、区分1とした。 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ 皮膚感作性: 塩化コバルト(0.17%)が区分1であり、区分1の成分=0.17%>=0.1%により、区分1とした。 アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
生殖細胞変異原性:	データがなく分類できない。
発がん性:	塩化コバルト(0.17%)が区分2であり、区分2の成分=0.17%>=0.1%により、区分2とし 発がんのおそれの疑い
生殖毒性:	塩化コバルト(0.17%)が区分2であり、区分2の成分=0.17%>=0.1%により、区分2とし 遺伝性疾患のおそれの疑い
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露):	シリカ(99.83%)が区分3(気道刺激性)であることにより、区分3(気道刺激性)とした。 呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露):	データがなく、分類できない。
吸引性呼吸器有害性:	データがなく、分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性:	データがなく、分類できない。
水生環境慢性有害性:	データがなく、分類できない。

13. 廃棄上の注意:

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
--------	---

汚染容器及び包装: 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規則	
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
国内規制	
陸上規制情報	非該当
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法:	名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) (政令番号 第312号 シリカ)
労働基準法:	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号) (コバルト及びその化合物) 感作性物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、厚生労働省労働基準局長通達、基発第182号)(塩化コバルト六水和物)

16. その他の情報

参考文献

- 1) Chemwatch社GHS SDS(CAS112926-00-8, SILICA PRECIPITATED, CRYSTALLINE FREE, CAS7791-13-1, COBALT(II) CHLORIDE HEXAHYDRATE)

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。